

アーカイブ Data Report

NO. 209

(2023年3月7日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・遠隔教育振興会

(*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

アメニティグッズで図書館をより快適に ～岐阜女子大学図書館での実践～

柳谷 怜奈・木幡 智子（岐阜女子大学）

1. 快適性を向上させるアメニティグッズ

公共図書館を利用していると、カウンターで老眼鏡を借りる人を見かけることがある。図書館には、しおりや筆記用具など利用者にとって「あると便利なもの」があるが、図書館利用者であっても、それらのものを必要としない限り、そういったものがあることにすら気が付かないかもしれない。また、必要性を感じても、わざわざ借りるほどではないという思いから利用に結びついていない可能性もあるだろう。こういった、「あると便利なもの」は、ホテルに宿泊する際、フロントで提供される櫛や歯ブラシ、スリッパなどの「アメニティグッズ」と似ている。「アメニティ」とは、「快適性」「快適さ」「心地よさ」を表す用語であるが、主に建築工学分野で指標となる用語である。「図書館の快適性」についての研究も、建物や空間としての快適性や心地よさをどのように実現するかというものが主流であるが、本研究では、「グッズ」という側面から、快適性の向上を模索した。

2. 岐阜女子大学図書利用者のニーズ

研究対象とした図書館は、筆者らが日常的に利用する岐阜女子大学図書館である。岐阜女子大学図書館の2021年度末現在の登録者数は1,207名、蔵書冊数は147,326冊である。

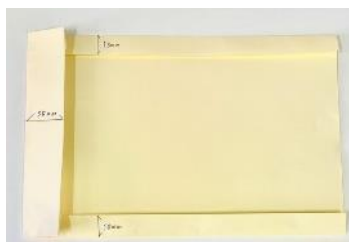
図書館の機能や目的について学習していることから司書資格科目履修学生を対象に、2021年12月に図書館の「アメニティグッズ」について現在の認知度や利用割合、あったら良いと思うアメニティグッズを調査した（調査1）。アメニティグッズの認知度は66.7%、利用割合は59.2%であり、筆記用具、しおり、メモ用紙が複数の利用者から利用されている実態が分かった。しかし、利用頻度については、数回程度の利用（50%）や時々の利用（50%）にとどまっていた。図書館にあったらよいと思うアメニティグッズとして挙げられたのは、筆記用具(6)、虫眼鏡・拡大鏡(4)、ブランケット(4)、館内マップ(3)、手提げ袋(3)、ブックカバー(2)の他、ブックスタンド(1)、耳栓(1)、ヘアゴム(1)、卓上ほうき・ちりとり(1)、ペン立て(1)など、多様であった。

3. 岐阜女子大学図書館で提供しているアメニティグッズ

調査1の結果を踏まえ、2021年12月現在、岐阜女子大学図書館で提供されているアメニティグッズの調査を行った(調査2)。図書館員お二人にご協力いただき、拡大鏡、ヘッドフォン、ブックカバー、図書持ち運び用バック、裁断機、筆記用具(鉛筆、マーカー)、鉛筆削り、はさみ、カッター、消しゴム、のり、ボンド、ホチキス、付箋の備えがあったことが分かった。このうち、ヘッドフォン、バック、裁断機、ブックカバー、筆記用具の利用が多いとのことだった。学生が手ぶらで図書館にやっても学習に必要な情報の入手や、資料の作成、課外の読書を楽しむ十分なアメニティグッズが用意されているのが分かった。一方で、調査1で「あったら良いと思うアメニティグッズ」として挙げられていたものの中には既に図書館に設置されているものもあり、図書館にどのようなアメニティグッズがあるのかを周知することが必要でなはないかと考えた。

4. 新たなアメニティグッズの提案と評価

利用者のニーズを踏まえ、新たに提供するアメニティグッズとして、しおり、リーディングトラッカー、ブックカバー、消しカス入れを作成し、提案し、アメニティグッズ周知のためのA4ポスターを作成した(図参照)。アメニティグッズは、継続して提供することを考え、いずれも安価で誰でも簡単に作れるようなものにした。2022年5月18日に設置を開始し、2022年11月から12月にかけて利用者による評価アンケートを行った。



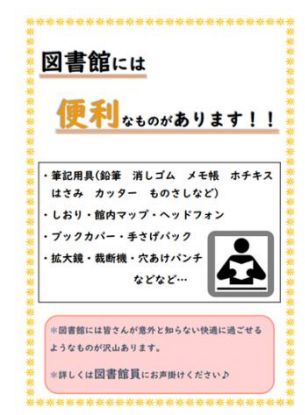
ブックカバー



リーディングトラッカー



消しカス入れ



ポスター



しおり

ポスターは1枚のみの掲示だったため、見たことのある人は少なかった。アメニティグッズの認知度は、一番高かったブックカバー(53.8%)でも、そのうちの利用割合は4.7%と少なかった。消しカス入れが最も多く利用されており、便利という意見も多かった。自習学習の時、授業の際などに使われ、図書館を長時間利用する人にとって消しカス入れは利用しやすく便利であると評価されていた。しおりやブックカバーに関しては、柄や色について気にする人もいた。

5. まとめ

利用者のニーズを反映したアメニティグッズを用意し、置き場所、利用方法などを利用者にあらかじめ知らせ、利用したいときに利用できる状況にしておくことが、アメニティグッズの利用者を増やすためには必要である。また、図書館の利用目的やニーズ、図書館の機能などからアメニティグッズの必要性を分析し、更新を続けることも大切である。「あの図書館に行くと便利なものがいろいろあって使いやすいよね」という気持ちをもつ利用者が増えることを期待したい。

(本稿は、柳谷怜奈学士論文(令和4年度受理)を元にまとめたものである。)